

磐田市

自治会連合会だより

VOL.9

平成21年7月1日発行

発行：磐田市自治会連合会

編集：磐田市自治会連合会総務部

連絡先

磐田市自治会連合会事務局

☎(0538)37-4811

市自治振興課

地域の連帯力を高め、住み良い地域づくりへ!!

自治会連合会は合併後5年目を迎え、この間、自治会長をはじめ役員
の努力はもちろんの事、何よりも住
民の皆さんのご理解とご協力により、
自治会活動の基軸である「安全・安
心で住み良いまちづくり」に向けて
の活動が、各地域の特性を活かしな
がら進められてきました。その活動
を通して役員の交流が深まり自治会



自治会連合会長
杉田 友司

連合会として一体感を持った活動へ
と歩き始めています。

私たちを取り巻く生活環境は、世
界同時不況の影響による速いスピー
ドでの景気悪化により、行政の財政
力低下や雇用問題等至る所に深刻な
問題が生じております。一方で、地
域社会においては、5人に1人の高
齢者割合という少子高齢社会に、更
に住民同士の支え合いや協力の期待

が増してきております。

こうした内外の問題全てを行政に
依存する話にはなりません。その対
応には困難を伴いますが、地域社会
の舵取り役である自治会が中心とな
って、行政や各種団体と協力し「地
域の連帯力」を高めながら、安心し
て暮らせる地域社会を創り上げて行
くことではないかと思えます。その
ためにも、社会変化に対応できる自
治会としての自らの組織体制・運
営・活動等の検討が求められている
時代を迎えているのではないかと思
います。

磐田市は、新しいまちづくりの方
策として、本年4月「磐田市協働の
まちづくり推進条例」が施行されま
した。協働と言う新しい理念のもと
でまちづくりが行われる事となりま
すが、一番大事なことは協働に対す
る行政職員・市民の意識改革であり
ます。住み良いまちづくりの一策に
市民総出で知恵を出し、その知恵に
対して行政が謙虚に受け止めて、行
政主導の「協働」にならないよう
進めて行かなくてはなりません。自
治会連合会もその一役を担いながら、
自治会の活動基軸に向かって進んで

行きたいと思えます。

この度、「連合会だより」を年3回
発行の内1号を全世帯にお届けする
事にいたしました。ぜひ、お読みい
ただき自治会連合会の活動に触れ、
皆さんのご理解とご協力をお願い申
し上げます。

今年度の活動方針を決定



自治会連合会総会

れ、ついで今年度の事業計画および
予算が決定されました。

また、4月

18日の磐田支
部を皮切りに、
5支部(磐田、
福田、竜洋、豊
田、豊岡)の支
部総会が開催
され、支部ご
との事業の確
認がなされま
した。



支部総会(竜洋)

平成21
年度の総
会を4月
11日、ア
ミューズ
豊田にて
開催しま
した。昨
年度決算
および事
業報告が
承認さ

平成20年度連合会収支報告

収入

費目	予算額	収入額	備考
会費	1,680,000	1,670,000	単位304自治会、連合会専任役員30名より会費5,000円ずついただいております。
交付金	10,000,000	10,034,000	市9,000千円 日赤社費交付金1,034千円
負担金	710,000	594,000	先進都市視察研修等の参加者負担金です。
前年度繰越金	902,290	902,290	
雑収入	1,710	6,615	預金利息等
合計	13,294,000	13,206,905	

支出

費目	予算額	支出額	備考
会議費	645,000	416,134	総会、三役会(年間14回)、理事会(年間9回)、各会議資料作成費等
事務費	2,844,000	2,816,400	役員手当、出張旅費、傷害保険料、備品購入費等
支部助成費	4,605,000	4,560,000	支部活動を支援し、地区活動の促進を図るため各支部に助成金を交付しています。 基本額:1自治会あたり10,000円 加算額:地区活動加算額として、1自治会あたり5,000円
先進都市視察費	1,200,000	956,491	(具体的な内容は3面参照)
事業部活動費	3,650,000	3,438,888	広報紙印刷代、自治会長コミュニティハンドブック印刷費、環境美化啓発ポスターコンクール実施経費、防犯パトロール用品地区助成費等
負担金	150,000	129,000	県自治連合会負担金等
予備費	200,000	0	
合計	13,294,000	12,316,913	

平成20年度の自治会連合会の収支結果をお知らせします。
平成20年度は、市政への関心を深める目的で、市が進める大型プロジェクトの情報収集とそれを住

民の皆さまにお伝えする活動や外国人居住率の高い地区の自治会長さんによる会議の開催等を行いました。



平成20年度連合会収支報告

平成21年度連合会予算

収入

費目	予算額
会費	1,655,000
交付金	10,000,000
負担金	705,000
前年度繰越金	889,992
雑収入	1,008
合計	13,251,000

支出

費目	予算額
会議費	534,000
事務費	3,010,000
支部助成費	5,060,000
先進地視察費	1,147,000
事業部活動費	3,050,000
負担金	150,000
予備費	300,000
合計	13,251,000

「21年度事業・予算の特色」
「安全・安心の住みよいまちづくりの取組みを推進する」を基本方針に、次の8項目に取り組みます。

- 1 市政への関心を深め、市民の声を市政へ反映させる
- 2 安全・安心のまちづくり
- 3 地区自治会活動の推進
- 4 多文化共生社会の推進
- 5 環境美化の推進
- 6 広報活動
- 7 役員及び会員の資質向上
- 8 その他 地域福祉、青少年健全育成など

本年度、防犯まちづくりの関係では、地区防犯組織の活動や設立の支援を図るため、地区安全会議への活動助成金を行うこととしています。

「専門部主要事業」
総務部
連合会だよりの発行
協働をテーマとした自治会長研修会
自治会長ハンドブック、自治会加入促進パンフレットの活用
ホームページの充実
環境部
環境美化統一行動
環境美化ポスターコンクール
環境美化キャンペーン
ごみ処理施設または環境配慮工場等の視察研修
住民安全部
地区安全会議地区への助成と地区相互の情報交換会開催
防犯委員研修会の開催
防犯パトロール実施
防犯ポスターコンクール
安全防火フェア参加

平成21年度事業計画および予算

先進都市視察研修

平成20年7月4日、5日に自主防災会連合会と合同で先進都市視察研修を行いました。

1日目の長野県駒ヶ根市では、市長さんから、かつて駒ヶ根市が磐田駅前のまちなみを参考にしようとして視察に行ったことや、たくさんさんのジュビロファンがいること、磐田市から視察に来ると聞いて研修会に参加したいと



駒ヶ根市での研修



駒ヶ根市の風景



太陽電池科学館前で記念写真

いう市民もいたことなどの話を伺いました。

研修会では、自治会、自主防災会の組織や活動状況について説明を聞いた後、災害時における要援護者台帳の作成など相互の課題について意見を交わしました。駒ヶ根市の要援護者地図の詳しさに驚かされました。両市の自治会連合同士の親交を深めることができました。

2日目は、子どもたちに地球環境問題や太陽光発電への関心を高めてもらうために設置された展示施設、太陽電池科学館「ソーラーポ」を視察しました。

クリーンエネルギー社会への転換について意識づけさせられ、各家庭にもソーラーパネル設置などの事業展開ができないかを考えさせられた研修となりました。

地区安全会議の設立と情報交換会

平成20年度には、富岡西地区、豊岡東地区、豊浜地区の3地区自治会において地区防犯組織が発足し、市内18の地区安全会議が活動を行っております。

各地区でさまざまな活動がさ

れています。活動内容や活動頻度など地区の事情により異なっています。地区安全会議を設立していない地区も含めて、情報交換会を開催し、それぞれの活動が効率的で、さらに充実、実効性あるものにしていきたいと考えています。



豊浜地区安全会議設立

多文化共生社会推進地区会議

自治会連合会では、平成19年から多文化共生社会推進地区会議を立ち上げ、外国人との顔の見える関係づくりを作りたいと考えています。会議で問題を把握するだけでなく、市内各地区の特徴的な取り組みや他県の取組みなどを勉強し、

よいものを取り入れて、一歩でも前に踏み出せるような活動していきます。

地区の取組みとして、夏祭りに地区在住の

外国人を招待したり、日本語教室を開いたりしています。ゴミ出しのマナーが悪いので、集積所に外国語の案内看板を出したり、ゴミ当番があいさつをするようにしたところ、出し方が改善された地区もありました。

外国人市民代表からは、近づいてきた人には下心があると警戒してしまうことや、ブラジルには自治会も広報紙も住民登録制度もなく、居住証明に電気の領収書を使っているなど文化や制度の違いが話されました。また、外国人も情報は必要であり、広報などは渡してくれれば読むし、母国語で書いてあれば絶対読むとのことでした。



今之浦地区の夏まつり

自治会長コミュニティ ハンドブック

市の自治会は毎年、8割以上の自治会長が入れ替わるため、活動の充実と組織作り、運営の一助として、連合会総務部会で作成し、本年度の総会の際に各自治会長さんに配布しました。

ハンドブックには自治会の役割や自治会長としての心がけ、自治会の組織・運営など記載しているほか、防犯灯を設置したい時や、道路・排水路工事などの工事要望などのQ&Aを載せています。

これからの自治会活動にぜひともお役立て下さい。また、本誌は毎年更新を考えております。活用しづらい部分や掲載希望事項等ございましたら連合会事務局までご連絡ください。



自治会長コミュニティハンドブック

環境美化統一行動

「6月の第一日曜日は環境美化の日」です。

ポイ捨てごみをなくそうと、今年も6月7日、市内全域で環境美化行動を実施しました。

当日は、自治会をはじめ、各種団体や小・中学校の生徒など約2万3千人が参加し、自分たちの地域は自分たちできれいにしようとしごみ拾いや河川の草刈りなどに励みました。

回収ごみは16トンにもなりました。

豊岡支部環境美化統一行動



豊田支部中学生による活動

自治会長全体研修会

6月13日、アミューズ豊田にて、「協働」をテーマにした自治会長全体研修会を開催しました。市の取り組みや他人任せでは問題解決が難しい今日、市民や市民活動団体、事業者、市が、それぞれの特性を活かして対等な立場で協力し合うようよい関係について研修しました。

事例発表では、KCS掛川猫サポーター倶楽部の岩瀬様、岡本様、また、前掛川市城内区長の曾我様を講師として、「飼い主のいない猫対策」市民活動団体と行政と地域の「協働」について講演をいただきました。糞尿など猫のトラブルに対して、野良猫を「地域猫」と名づけ、猫にも人にも愛情をもって接する市民活動団体と地域の方々、行政の

取り組みは大変参考になりました。「協働」が決して難しいものではないと教えられました。



事例発表

編集後記



編集委員長
村松伸洋(上神増)

今回、はじめて連合会だよりを全家庭にお届けします。より多くの市民の皆さまに、たよりが発行されていることと連合会の活動を理解していただきたいとの願いからです。

加えて、本市ではこの4月から協働のまちづくり推進条例が施行され、本庁・各支所に協働推進係が配置されたことを受け、連合会がこの条例の下でまちづくり推進の中心的な役割を果たさなければならぬとの思いも込めています。

より多くの市民の参画・参加による地区活動を充実し、連合会としての力量を高めていくことが必要です。

限られた紙面ですので、活動の全容は掲載できませんが、合併後の4年間を振り返り、新たな展望を拓く一助としてこのたよりが活かされることを願ってやみません。家族間での話題の一つとしていただければ幸いです。